

～心電図検査にあたたな可能性を～ 新技術：導出 18 誘導心電図のご紹介

日本光電工業(株)営業本部検査ソリューション部循環器・救急 BG 二課
水田 陽

【導出 18 誘導心電図技術とは】

導出 18 誘導心電図技術では、① 安静時 12 誘導心電図を計測、② 心電図の瞬時ベクトルの変化を連続的に算出、③ その結果を右室側 V3R・V4R・V5R、後壁側 V7・V8・V9 の 6 部位に投影,といった方法で追加 6 誘導分の心電図を演算処理によって求めております。従って本技術をご利用いただくことで、計測手技は従来の標準 12 誘導心電図と変わることなく、診断の補助として有用な追加誘導の情報を得ることができます。

【有用性】

導出 18 誘導心電図では、演算処理によって求めた情報をもとに、12 誘導心電図のみでは変化が捉えにくいとされる右室および後壁側における ST 上昇などの虚血に伴う心電図変化を捉えることを目的としております。右室側(V3R～V5R)及び後壁側(V7～V9)の追加誘導の実測波形と、演算処理によって求めた導出波形との比較を行なった例においても、両者の間に相関

関係が認められております。このことから、導出誘導を用いることで心臓の右室側・後壁側といった部位での虚血に伴う心電図変化の有無を類推することができ、その有用性が期待されております。

【注意点】

導出 18 誘導心電図は演算処理によって求めた波形を用いての評価であるため、異常の有無を類する上での定性的な指標としての意味合いが強いです。また、導出波形の精度を保つためには、正確な位置に電極を装着し、12 誘導心電図を計測することが必要となります。これらの点を理解し使用していただくことで、診断に有用な補助的な情報としての利用価値が期待できるのではないかと考えております。

今回、いただいたお時間の中では、導出 18 誘導の概念、信憑性、事例などを交え、技術の概要をご紹介します。

連絡先：日本光電北関東株式会社
上信越支社前橋第一営業所
TEL：027（210）7771